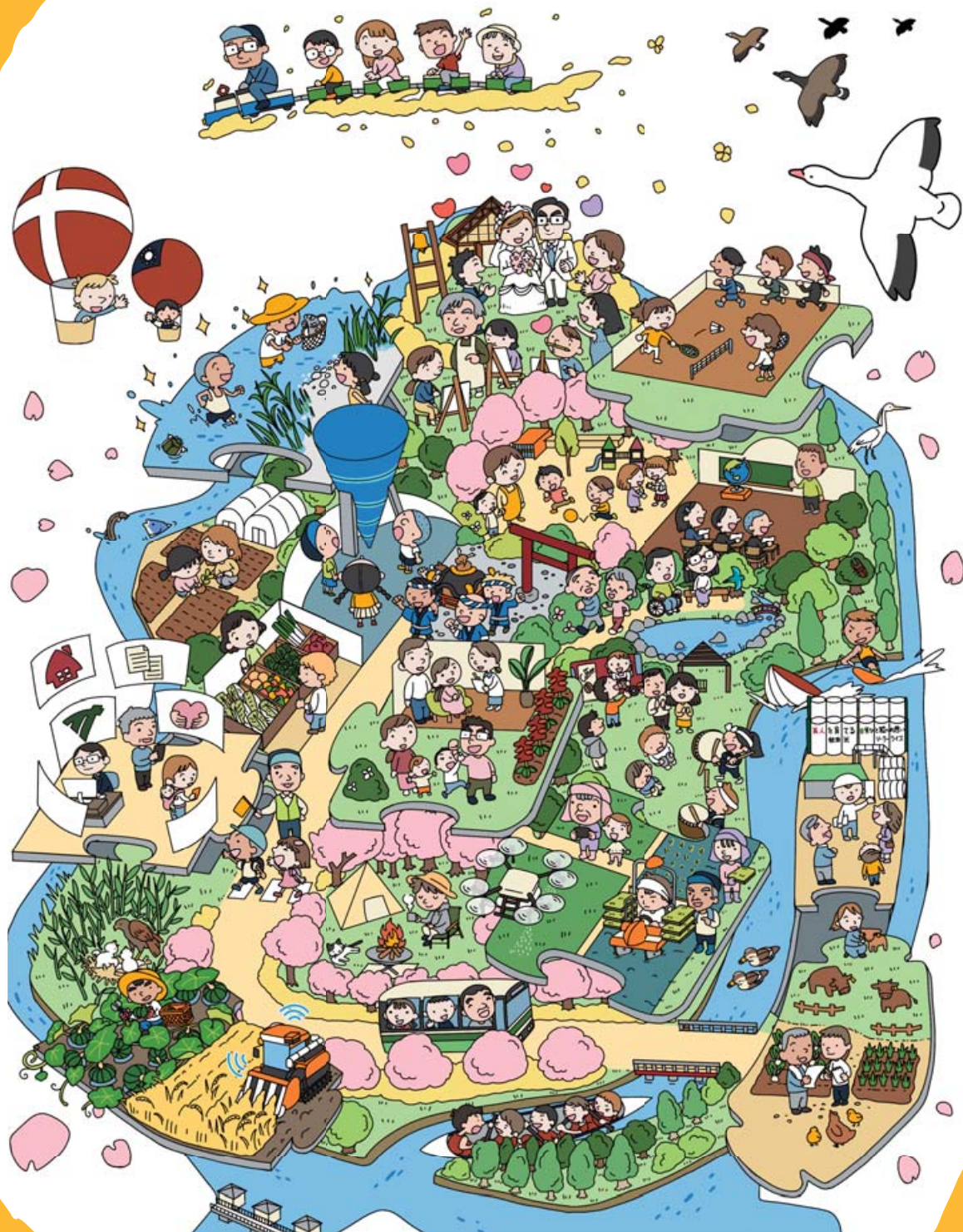


第3期大湊村総合村づくり計画

継承と挑戦で未来を拓く 希望の大地

～グリーン フロンティア おおがた～

概要版



2026年4月
大湊村

第3期大潟村総合村づくり計画策定にあたって

昭和39年（1964年）、東京オリンピックの開催や東海道新幹線の開通と同じ年に、戦後の食糧増産を目的とした国家プロジェクト「国営八郎潟干拓事業」により、湖底の大地に新設自治体として「大潟村」が誕生しました。これらは、日本の復興と国際社会への復帰を象徴するものであり、日本が世界に飛躍した年でもあります。

村創立以来、村民主体でゼロからのコミュニティづくりを進めてまいりました。そして、農業生産を基盤にした農業資材や機械、農産物の加工・流通・販売、さらには再生可能エネルギーや金融、観光といった関連産業を育み、一大産業集積地として発展してきました。耕作放棄地を一切出すことなく、食糧生産に努め、大潟村農業が発展してきたことは、村の誇りです。

本村は令和6年（2024年）、村創立60周年の節目を迎えました。一方で、我が国は人口減少社会に突入し、村においても人口減少とともに、高齢化率が上昇していくと予測されています。このような変化を踏まえ、村民に最も身近な基礎自治体としての役割と責任をこれまで以上に果たすため、社会・経済環境の変化を的確に把握し、時代や村民のニーズを取り入れながら、令和8年度（2026年度）から令和15年度（2034年度）までの8年間の本村のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、第3期大潟村総合村づくり計画を策定しました。

村づくりの基本方針として「グリーン フロンティア おおがた」を掲げ、農業を核に多様な産業が連携・結集し、環境・福祉・教育の相互連携を推進するとともに、大学の知見も活かして新たな価値を創出しながら、日本農業の未来を切り拓く持続可能な地域づくりと社会の発展を目指していきます。

また、目指すまちの姿を「継承と挑戦で 未来を拓く 希望の大地」とし、村民の皆様が前向きに挑戦し未来を拓き、希望に満ちた誇りある故郷（ふるさと）づくりを進めるため、様々な立場の方々との協働と連携を積極的に進め、村民の皆様の英知を結集して大潟村の輝かしい未来を創造してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、ご審議をいただきました大潟村審議会委員、大潟村議会議員の皆様をはじめ、ワークショップや村民アンケート等にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後とも村づくりへの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年4月

大潟村長 高 橋 浩 人

村の「これから」を共に切り拓いていくために



総合村づくり計画は、これから始まる新たな8年の「道しるべ」となる計画です。

基本構想

これからの村づくりにおける「基本方針」に基づき、8年後の「目指すまちの姿」を明らかにしたうえで、その実現に向けた「村づくりの基本目標」を定めます。

基本計画

基本構想で定めた「目指すまちの姿」を実現するため、「村づくりの基本目標」に基づき、推進すべき「施策内容」を示し、目標指標を定めています。

実施計画

基本計画で示した施策を実現するための具体的な事業計画を示すもので、村の財政状況や緊急性などを勘案しながら、毎年度見直しを行います。

計画
期間

基本構想

令和8年度～令和15年度（8年間）

基本計画

前期

令和8年度～令和11年度（4年間）

後期

令和12年度～令和15年度（4年間）



基本方針

グリーン フロンティア おおがた



私たちの原点 国家プロジェクト としての誕生

大潟村の誕生は、戦後の食糧増産を掲げた国家プロジェクト「八郎潟干拓事業」という壮大な挑戦から始まりました。干拓により湖底から大地が姿を現した昭和39年（1964年）は、日本の復興と国際社会への復帰を象徴する東京オリンピックが開催されるなど、日本が世界へ飛躍した年でもありました。この歴史的な出来事を背景に、ゼロからの村づくりに挑戦してきた「フロンティア精神」が私たちの村の源です。

村の誇り 農業を基盤とした 産業の集積

創立以来、村は一貫して食糧生産に尽力してきました。
現在は農業生産を基盤に、農業資材や機械、農産物の加工・流通・販売、さらには再生可能エネルギーや金融、観光など農業とも関連しつつ多様な産業を育み、一大産業集積地として発展してきました。

新たな挑戦 持続可能な 未来へ

農業を核に、環境・福祉・教育の相互連携を推進し、大学の知見も活かして新たな価値を創出します。
私たちはこれからも、日本農業の未来を切り拓く先駆者（フロンティア）として、持続可能な地域づくりと社会の発展を目指していきます。

これを「グリーン フロンティア おおがた」として本計画の基本方針とします。

産業

農業の未来を切り拓き、持続可能な産業の確立

農業を核に、スマート技術や環境と調和した新たな価値を創出する持続可能な産業構造を確立します。

環境

環境と共に、GXの実現にむけて

豊かな自然環境を守りながらGXを推進し、脱炭素先行地域として、持続可能な未来への行動を加速します。

福祉

世代を超え
支え合う
安心の暮らし

世代を超えて支え合うことで、誰もが取り残されない「日本一元気な長寿村」を築きます。

教育

学びが育む
次世代の人材、
活力ある地域

干拓の歴史と開拓者精神を継承し、次世代を担う人材の育成に努め、活気あるコミュニティを育みます。

8年後の大潟村 目指すまちの姿

継承と挑戦で未来を拓く 希望の大地 ～グリーン フロンティア おおがた～

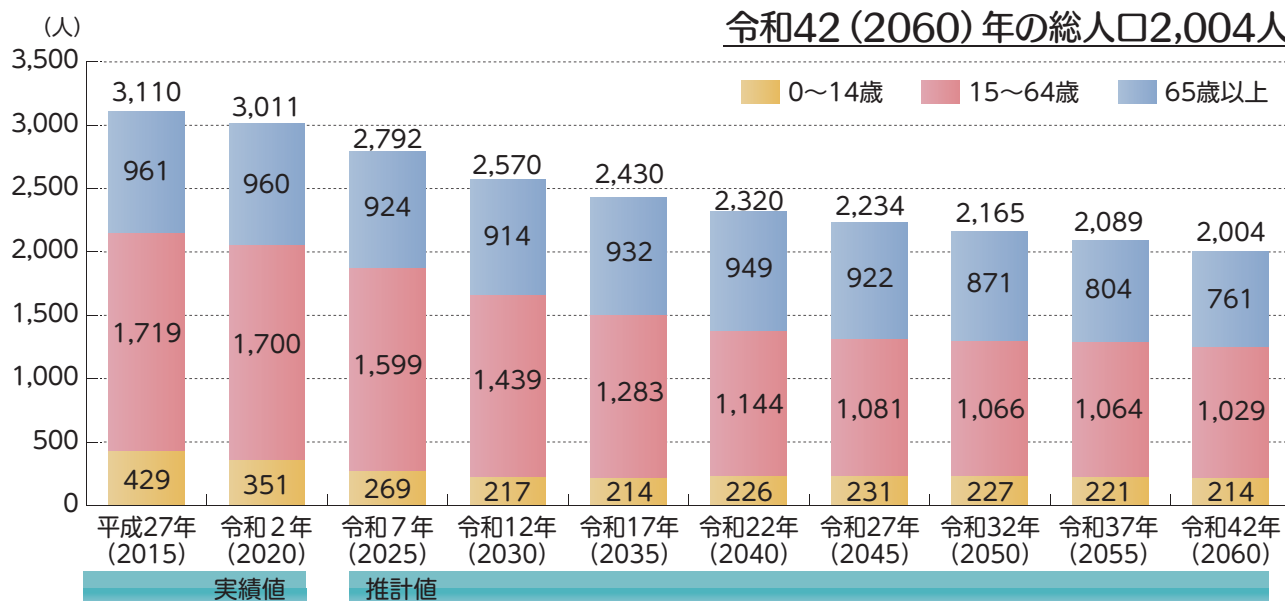
少子高齢化が進行する中で、これからの村づくりのためには、行政と村民が協働して、人や村を未来へ継承する持続可能な村づくりを行っていくことが求められます。

そこで、基本方針「グリーン フロンティア おおがた」をもとに、先人たちの開拓者精神を受け継ぎ、村内外の多様な主体と共に新たな価値を創り出し、豊かな自然と人を育む、新たな村づくりを推進します。これからも前向きな挑戦を続けることで、未来を拓き、希望あふれる大地を次世代へと確かにつないでいきたいという想いを込めて、今後8年後の「目指すまちの姿」を、『継承と挑戦で未来を拓く 希望の大地』としました。

目標将来人口

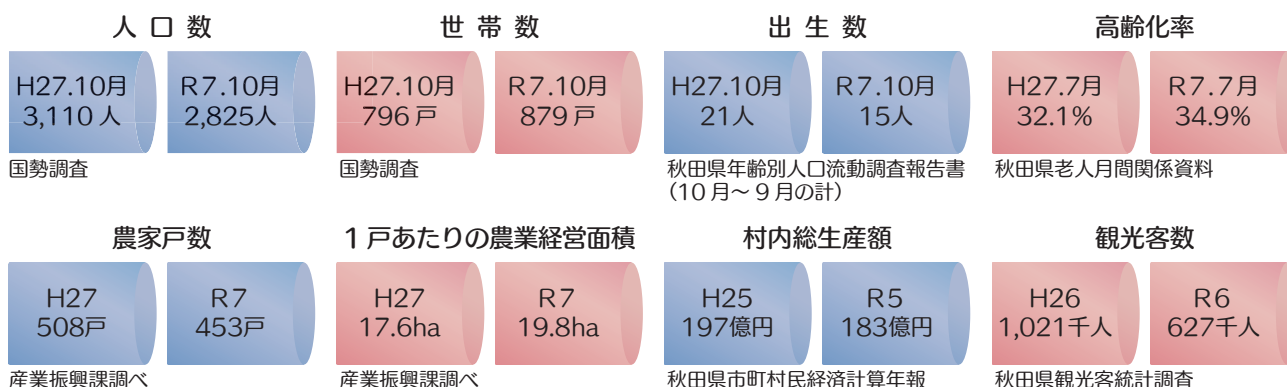
安心してこどもを産み育てることができる支援や就業機会、定住促進などに積極的に取り組むことによって、人口減少に歯止めをかけ、**令和42年（2060年）に2,000人を維持することを目標とします。**

総合計画は、将来の人口目標を設定しています。：**令和22（2040）年の総人口2,320人**
令和42（2060）年の総人口2,004人



※端数処理の関係上、内訳と合計が一致しないことがあります。

数値でみる大潟村

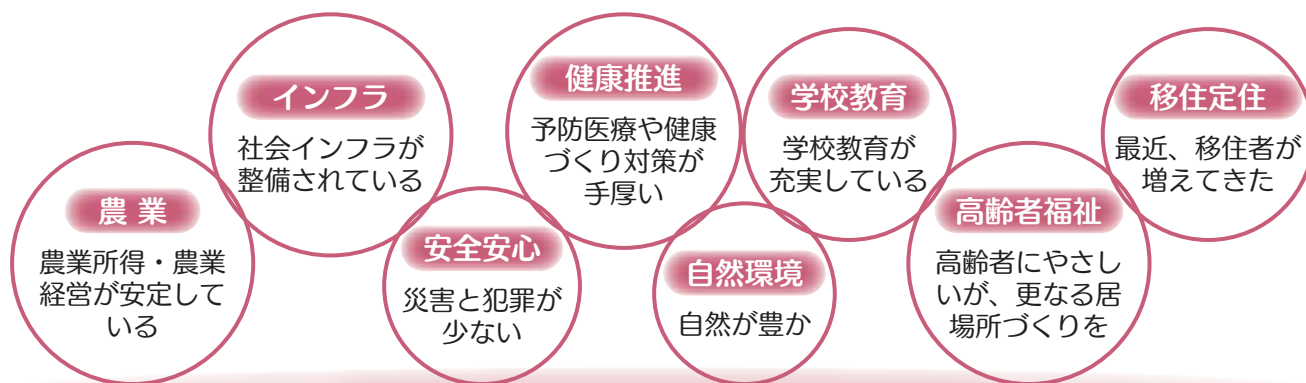




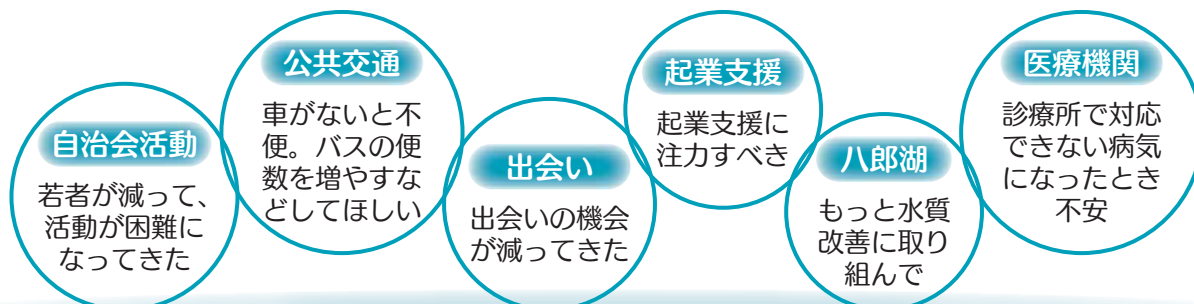
村民アンケートを行いました

令和6年10月に、村に住んでいる18歳以上の方1,000名を無作為に抽出し、村民アンケートを実施し（郵送、WEB）、38.4%の回答を得ました。このアンケート結果をもとに、皆様の意見を総合計画に反映させました。

さらに伸ばそう！



課題を解消しよう



秋田県立大学生との座談会を行いました

令和7年2月に、秋田県立大学大湯キャンパス 清新寮にて、学生との座談会を開催し、学生が日ごろ村に対して感じていることや、村に提案したいことなどの意見をいただき、活発な座談会となりました。

学生の意見

- 村の自然豊かなところが魅力！（植物・虫・星）
- 農業バイトのおかげで、農家の人とつながることができた！
- バスの便数が少なく不便
- 村のイベントや事業がわからない。学生がよく見る寮の掲示板にチラシを貼ったら？
- 村公式LINE・ブログ・Instagramなどがあることも知らなかったの、QRコードを寮内で周知したらどうか。
- 村のイベントを知りたい・参加したい。
村内イベントに学生屋台などを出してみたい！

むらの魅力
むらの不便なところ
むらへの要望



村外アンケートを行いました

令和6年10月～11月に、村外に住んでいる方を対象としたWEBアンケート調査を実施し、村外の方ならではの意見・要望をお聞きしました。

アンケートからわかること

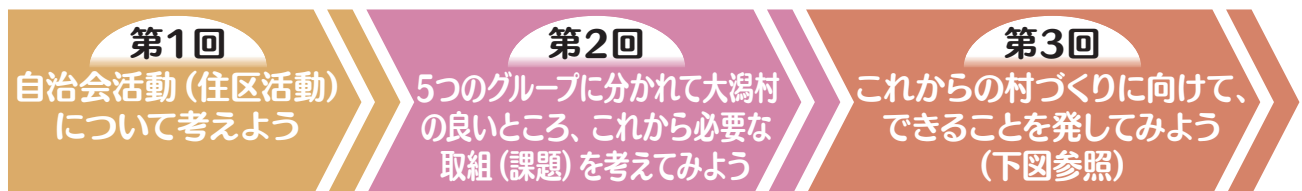
- 回答者57人中44人が村に居住歴があり、うち30人が10・20歳代の学生もしくは会社員等。
- 将来的に村への居住に関心がある：39%。
- 就職先の希望について・・・
 - 実家の農業に携わる：37%、村内に農業以外で就職する：21%、
 - 村外で就職する及び起業する：16%。
- 村に居住するにあたって村に求めるサポートについて・・・
 - 就職の斡旋：40%、就農への支援：30%、起業への支援：21%。
- 村に移住する場合の心配事について・・・居住歴のある方は、買い物や生活が不便であることや公共交通機関が不便であること。居住歴のない方は、人間関係や友人・知人がいないことが上位。



※アンケート回答の上位内容を抜粋

村民ワークショップを行いました

村民ワークショップは、第3期大潟村総合村づくり計画策定にあたり、「みんなで話そう。これからの大潟村のこと。」をテーマに開催し、大潟村の“村づくり”への気運を高め、今後の村づくりに必要な取組などについてアイデアを出し合い、新たな村づくりへの意見、提言をしました。 ※R7.2月～3月開催（全3回）





基本目標

1

活力とにぎわいにあふれ、 明日の農業（産業）を拓く村

施策 1-1

持続可能な力強い農業の推進

■ 地域の特性を活かし、消費者に求められる安全・安心な農産物の生産・供給により、豊かな自然環境に貢献するしなやかで強い、持続可能な農業基盤が構築されています。

- 農家所得の向上と農業経営の安定化
- 後継者の育成、生産組織の支援
- 環境創造型農業の推進 など



みんなの声

- 後継者不足による農家の減少が心配。
- 新規就農の促進や後継者への支援や農業の事業継承が円滑に進むよう支援が必要だと思う。

施策 1-2

農業基盤の整備と農村環境の保全

■ 農業の生産基盤及び美しい農村環境が整備され、安定的で持続可能な農業が推進されています。

- 農業生産基盤の適切な改修と維持管理
- 共同活動による農村環境の保全 など

施策 1-3

商工・観光の活性化

■ 商工業の活性化と観光振興により、地域の魅力と活気が生まれています。

■ 村特有の風土、歴史、自然といった資源がブランド化され、体験・滞在型観光による誘客促進と観光消費の拡大が図られています。

- 地域資源のブランド化と観光プランの充実
- 村内施設やイベントの魅力・集客力の向上
- 多様な媒体を活用した観光情報の発信とPR など

みんなの声

- 村を訪れる人に自然・観光など村独自の魅力を伝え、質の高い体験を提供できたらいい。
- 村全体のブランド力向上と持続可能な観光振興が目標。

施策 1-4

新たな産業と雇用の創出

■ 意欲ある起業家や事業者への積極的な支援を通じて、新たな産業の創出と企業の成長が促進されています。

■ 若者、女性、高齢者、障がい者、外国人など、多様な人材が活躍できる雇用の場が確保され、持続可能な地域経済の発展につながっています。

■ 企業誘致・集積、商店街への支援などが、産業の多様性につながっています。

- 多様な人材の確保と起業・創業支援の充実
- 企業誘致・集積の推進と雇用の創出
- 特産品開発とブランド化の推進 など

みんなの声

- 積極的な起業支援や、食品加工、物流、飲食店などの企業誘致を。



基本目標

2

希望育み、明るい未来を創る村

施策 2-1

子育て支援と「こどもまんなか社会」の推進

- 妊娠から出産・子育てまでの切れ目ない支援が行われ、安心してこどもを産み育てられる環境が構築されています。
- こども一人ひとりが幸せを感じ、地域の良さを感じながら、地域全体が子育て家庭を包括的に支える「こどもまんなか社会」が実現されています。

- 妊娠・出産への支援体制の充実
- 子育て世代の交流機会の創出
- 地域が支える子育て・保育サービス など



みんなの声

- 子育て世代が安心して暮らせる環境整備と経済的負担軽減を図ったらどうか。
- 若者が住みやすく、仕事と子育てを両立でき、楽しく子育てができる地域が理想。

施策 2-2

移住・定住の促進と関係人口の拡大

- 移住希望者や村内定住者のニーズに応じた住環境が整備され、誰もが安心して暮らせる地域となっています。
- 村の関係人口が増加し、定期的に村を訪れ、観光や地域と深く関わりを持つ人が増え、新たな活力が呼び込まれています。

- 移住・定住の促進
- 関係人口の拡大
- 若者の定着促進 など

みんなの声

- 県立大学生との交流を深めて、定住や就農につなげる取り組みを検討して。
- 村の魅力を創出し、若者や新たな移住者が住みたくなる環境づくりが重要。

施策 2-3

出会いと結婚支援の充実

- 結婚を希望する方の「大潟村で出会い、住み続けたい」という意識が醸成され、地域での定住につながっています。

- 結婚支援センターの充実
- 多様な出会いの機会の提供
- 結婚生活の応援 など





基本目標

3

郷土に誇りを持ち、 社会性豊かな人を育む村

施策 3-1

未来を切り拓き、郷土愛を育む学校教育の推進

■大潟村の特色を活かした教育と地域協働により、こどもたちの「確かな学力」のほかにも「生きる力」「周囲と共感しながら協力して問題を解決できる心」などの社会性が育まれています。

- 園・小・中連携による特色ある教育の推進
- 地域とともに歩む学校づくりを目指したコミュニティ・スクールの推進
- 教育DXの取組 など

みんなの声

- 「人間力・人間性の育成」、「村の歴史・郷土愛の継承」、「交流機会の創出」に力を入れて取り組むことで、学力テストの点数だけでは測れない豊かな成長が期待されると思う。

施策 3-2

生涯学習と世代交流の促進

■村民一人ひとりが生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、時代に合った多様な学びの場を通して、新たなつながりが生まれ、生きがいや心の豊かさを感じることができています。

- 村民ニーズに対応した生涯学習講座の開催
- 芸術文化活動を通じた新たな交流の場の創出
- 生涯学習奨励員、指導者の計画的な育成と発掘 など



みんなの声

- 趣味や興味を共有する自発的で魅力的な世代間交流の場があるといい。
- 生涯学習への参加意欲を高めるため「参加したらおもしろい」ことを積極的にアピールしたらどうか。
- 小中高生をはじめ誰もが自由に自学習できるスペースがほしい。

施策 3-3

スポーツによる健康・交流づくり

■こどもから高齢者まで多くの人々がそれぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツができる環境が整い、地域全体でスポーツ活動が盛んに行われています。

- 総合型地域スポーツクラブを中心とした生涯スポーツの推進
- 部活動地域展開定着への支援
- 合宿誘致による関係人口の拡大 など

施策 3-4

干拓の歴史と文化の継承

■干拓事業や新たな村づくりに挑戦してきた村の歴史が受け継がれ、ふるさとへの愛着と誇りが醸成されるとともに、未来へ継承する人材の育成が図られています。

■干拓地で育まれた豊かな生物多様性が広く理解されています。

- 干拓の歴史の保存と継承及び活用
- 村の自然環境を学ぶ機会の創出
- 案内ボランティアの活動支援 など

みんなの声

- 村の貴重な干拓の歴史をまとめ、展示を充実させることは、村民の郷土愛を育み、後世に伝える上で重要。
- 博物館への来訪者を増やすため、地域の歴史や文化に触れられる魅力的なイベント企画や工夫を積極的に実施してほしい。



基本目標

4

いつまでも安心して 自分らしく暮らせる村

施策 4-1

生涯にわたる健康づくりの推進

- こどもから高齢者まで、「自ら健康を意識し行動できる力」を持ち、誰もが主体的に健康づくりに取り組める環境が整っています。
 - 幅広い分野で健康増進事業の取組を推進することで、村民の健康意識や運動習慣の定着、食生活改善など、望ましい生活習慣が促進され、健康寿命の延伸が図られています。
- 生活習慣病の予防
 - 健康相談体制の充実
 - 予防医療の充実 など

みんなの声

- 健康寿命を延ばすため、健康的な食生活を支援するための料理教室の開催や、健診で要精密検査となったときにきめ細やかなフォローを実施し、村民が健康で充実した生活を送れるよう支援を充実してほしい。

施策 4-2

地域で支え合う福祉と交流の促進

- 地域に暮らす人々が互いに支え合いながら、安心して生活できる地域社会となっています。
 - 医療や介護、子育てといった分野とも連携し、一体的に支援できる体制が整っています。
- 重層的支援体制整備事業の推進
 - 地域福祉活動体制の整備と充実
 - 家・仕事場以外の居場所づくりの支援 など

みんなの声

- 福祉の充実に向けて、地域のボランティアを福祉のリーダーとして育成・支援する必要がある。
- 村民センターや地域ふれあいサロン「ちょこっと」を、世代を超えた交流の場として更に活用し、地域の居場所づくりを整備してほしい。

施策 4-3

高齢者の支援と生きがいづくり

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境、支援体制が整備されています。
 - 高齢者が交流事業を通じて楽しく活動することで生きがいづくりにつながり、介護予防や健康増進にも効果があらわれています。
- 生きがいづくりの推進
 - 自立支援と生活環境の整備
 - 介護予防事業の充実

みんなの声

- 高齢者支援について、外出の機会が少ない高齢者の生活状況を把握し、地域での孤立を防ぐ支援が重要。
- シルバーカーが使いやすいように環境を整備し、村内の移動を安全かつ快適にしてほしい。
- ボランティアドライバーによるお出掛け支援を充実させ、高齢者が安全に外出でき、安心して暮らせる環境づくりを進めほしい。

施策 4-4

一人ひとりが自分らしく暮らせる 社会の実現 (障がい者(児)福祉)

- 障がいの有無に関わらず、共に地域で暮らす共生社会が形成されています。
 - 障がいのある人とその家族が安心して生活できるよう、社会生活を営む環境や相談支援体制が整備されています。
- 日常生活を支える環境の整備
 - 相談体制の充実
 - 教育、就労、社会活動への支援 など

施策 4-5

人権を尊重する社会の形成

- すべての村民が互いの人権を尊重し、誰もが自分らしく安心して暮らすことができ、多様性を認め合う地域社会が築かれています。
- 人権啓発活動の実施
 - 男女共同参画社会の推進
 - 児童・高齢者虐待、DVなどの防止と相談事業の充実 など



基本目標

5

豊かな環境を守り、安全で快適な暮らしを支える村

施策 5-1

自然環境の保全と脱炭素への挑戦

- 大潟村の豊かな湿地性里山環境の大切さが周知され、適切な活用と、協働による環境保全が行われ、良好な自然環境が保たれています。
- 脱炭素先行地域として、自然エネルギー100%の村を目指し、再生可能エネルギーの推進により、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。
- 生物多様性の普及啓発 ● 地球温暖化対策への取組の強化 など

施策 5-2

景観保全と循環型社会の構築

- 4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、ごみの減量化と再資源化が進んでいます。
- 美しい景観が維持され、不法投棄のない村になっています。
- 適正な廃棄物処理 ● 景観保全活動の推進
- 不法投棄の未然防止対策の実施 など

みんなの声

- 資源の有効活用が十分に進んでいないように思う。
- 生ゴミの堆肥化を推進しゴミの減量化を図り、資源循環の取り組みを推進してほしい。
- もみ殻の活用について農業だけでなく、多角的な地域資源の有効活用を促進してほしい。

施策 5-3

八郎湖の水質改善

- 農業と自然環境が調和し、美しい湖のある村になっています。
- 八郎湖の水質負荷低減 ● 八郎湖水質改善対策の検討 など

施策 5-4

住環境と生活基盤の整備

- インフラ施設の適正な管理・更新により、村民の安全・安心な暮らしが確保されています。
- 防災林としての安全機能を維持しながら、景観の持続的な向上が図られています。
- 地域づくりと一体化した持続可能な移動手段が確保され、地域内外の方が円滑に移動できる手段が確保されています。
- 道路施設等の適正な維持管理 ● 樹木の適正な管理
- 上下水道施設の適正な維持管理と計画的な更新
- 公共交通システムの維持・利用促進 など

みんなの声

- 松枯れ対策や、倒木処理など、防災林の適切な管理をお願いしたい。
- 交通弱者にとって公共交通はぜひ維持してほしい。地域の実情に合った移動サービス導入を検討してもらいたい。

施策 5-5

災害に強い村づくり

- 大規模災害に備えて、自助、共助、公助の協働による災害対応への体制が整備されています。
- 消防団の機能強化、団員確保が図られ、地域防災力が確保されています。
- 防災基盤の整備と災害情報の発信
- 地域防災力の強化
- 消防団活動充実など

みんなの声

- 災害発生時に的確な対応ができるよう、地域の防災力強化が重要である。
- 家庭や村全体の備蓄品の管理を徹底し、災害発生時に対応できるようにしてほしい。
- 災害時に自然エネルギーが供給できる仕組み作りを。

施策 5-6

防犯・交通安全の推進

- 防犯活動、交通安全活動により、犯罪や交通事故に巻き込まれない、安全・安心な暮らしができています。
- 消費者被害防止のための啓発や相談を通じて、被害の未然防止、救済につながっています。
- 交通安全対策の推進
- 防犯対策の推進
- 消費者被害の防止 など



基本目標

6

信頼と期待に応える行政、 みんなで築く村

施策
6-1

協働と参画の村づくり

- 村民一人ひとりが地域の課題に関心を持ち、行政と協働して村づくりに取り組む姿勢が育まれています。
- 時代の変化や自治会の状況に合わせた主体的な自治会活動が継続され、各種団体の活動や世代間交流が活発に行われています。
 - 村民の意見収集・政策への反映
 - 自治会・コミュニティ組織の活動に対する支援及び自治会活動の意義についての啓発活動
 - 各種団体の活動に対する支援

みんなの声

- 高齢者や住居世帯の減少により、自治会活動の負担が増しているが、住民同士の交流の場として重要。
- 住みよい地域づくりのために自治会活動の持続可能な方法で継続し、より効果的な地域コミュニティの形成が必要だ。

施策
6-2

大学との連携、多文化共生の推進

- 連携協定を締結している大学の個性や専門性を活かし、連携して村づくりが行われています。
- 地元の大学である秋田県立大学の学生と地域との交流が活発に行われ、村の行事やイベントに多くの学生が参加しています。
- 国際交流活動を通じて、多文化共生への理解を促し、国際感覚豊かな広い視野を持つ人材が育っています。
 - 村民と学生の交流促進
 - 国際交流の推進
 - 秋田県立大学等との協働による若者定着・関係人口創出など

みんなの声

- 秋田県立大の寮生より
- 村のイベントをもっと知りたいし、参加したい。
 - 村の人ともっと交流したい。



施策
6-3

デジタル化と情報発信の強化

- 生活情報を迅速に発信するとともに、すべての村民が必要な情報を受け取ることができます。
- 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）による行政手続きのデジタル化が図られ、デジタル技術を活用したサービス導入により、行政サービスの向上が図られています。
 - 広報の充実
 - DXによる村民サービスの向上
 - ホームページやSNS等によるタイムリーかつスピーディーな情報発信と発信機能の充実 など

みんなの声

- 村ホームページがもっと見やすくなるといい。
- 役場に行かなくとも、様々な手続きができるようになるといい。

施策
6-4

信頼と期待に応える行政運営

- 社会情勢の変化や村民ニーズに柔軟かつ的確に対応できる機能的な組織運営が行われています。
- 職員一人ひとりの能力が最大限に発揮され、村民から信頼される人材が育成される仕組みが確立されています。
- DXを推進し、庁内業務において資料のデジタル化や業務効率化を図ります。
- 中長期的な財政見通しを踏まえながら、健全な財政運営に努めています。
 - 働き方改革を下支えする組織づくり
 - 行政DXの推進による業務効率化
 - 公共施設の効率的運用と適正管理 など

● 発行：令和8年4月

● 編集・発行：大潟村 総務企画課

illustration by 佐藤 裕奈（大潟村地域おこし協力隊）

※総合計画全体版は村公式ホームページからご覧いただけます。